

OS交配

ハウス全般(促成・半促成・雨よけ・抑制・越冬)栽培可能

キュウリ



# ニーナ・ニーナZ

(S-27) (S-27Z) ゼット

●ウドンコ病・褐斑病・ベト病に極めて強い ●秀品多収

## 複合耐病性

いつでも  
どこでも栽培可能



摘芯栽培に適し  
更新型つる下ろし栽培にも適す



株式会社 埼玉原種育成会

OS  
交配

# ニーナ(S-27)・ニーナZ(S-27Z)



## 特性と栽培のポイント

### 特 性

- ★ 褐斑病・ウドンコ病に強い耐性を示し、ベト病にも強い。
- ★ 節成性が高くとも、分枝性が良い。
- ★ 終始、果形が安定し、肥大性が良い。
- ★ 高品質で、秀品率が特に高く、食味良好。

適作型	ハウス全般 (促成・半促成・雨よけ・抑制・越冬) 周年栽培可能
主枝雌花率	ほぼ100% (7月播き、8月播きは雄花節も出る) 各節1~2果成り
草姿・草勢	主枝: 太さ中位で中節間。側枝: 中節間で発生は良い。 孫枝: 側枝の収穫が始まつてからも順次発生する。
果 実	100g果で21~22cm。濃緑色で光沢、極良い。 首から尻まで良く整った円筒形で果揃い良い。
収 量	主枝雌花着生の多さと実の肥大の良さから、初期収量多い。 分枝性が良く、草勢バランスが終始安定し、秀品多収となる。
耐 病 性	病気の発生は全般に少なく、特に褐斑病・ウドンコ病に強い耐性を持ち、 ベト病にも強い

※ニーナ及びニーナZの特性差について

適作型及び品種特性はいずれも変わらない

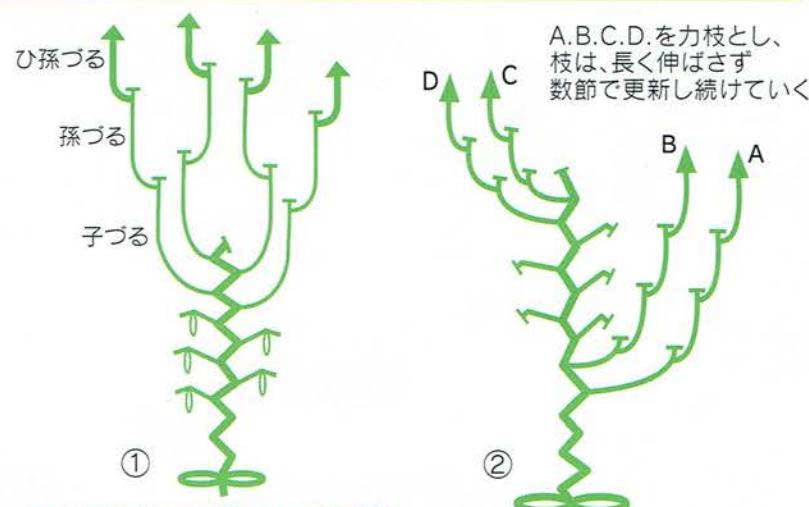
ニーナZの方が、やや分枝性が良く樹勢を強く維持出来る

### 栽培のポイント

#### 摘芯栽培及び更新型つる下ろし栽培に適する 特性を活かすために積極的な肥培管理をする

- 定植から活着、伸び盛り、収穫始まるまでは基本的な肥培管理で、徒長させずに旺盛な生育を図る。
- 摘芯栽培の場合、主枝果実～側枝果実の連続肥大時期までの草勢に合わせて、摘芯の強弱を考慮する。
- つる下ろし栽培の場合、更新型を基本として数節(3~5節)で更新し、肥大を促す。側枝～ひ孫枝以降。
- ブルームレス台木は、OS交配ゆうゆう一輝黒タイプ、オールスター一輝、FGY、RK-3が適する。
- ブルーム台木は、ウルトラ南瓜、ウルトラG南瓜、ウルトラ9B南瓜が適する。

### 仕立て方の例



数本の子づるを選択、数節伸ばしては摘芯、その上節位の枝を数節伸ばしては摘芯。これを繰り返しながら収穫を続け、つる下ろしていく仕立て方



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元  
株式会社埼玉原種育成会  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元  
株式会社シード  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616  
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407